

2024年7月24日

全国初！スマート農業技術で栽培したライチについて 肌への機能性等で「機能性表示食品」の届出を完了 栽培普及に向けた取り組みを実施

株式会社四国総合研究所（香川県高松市、代表取締役社長 越智浩）は、弊社が開発したスマート農業技術を用いて栽培したライチについて、GABAを機能性関与成分とした、ライチの生鮮食品としては全国初となる機能性表示食品の届出が完了しましたので、お知らせします。

◆ 届出の背景

亜熱帯地域が原産であるフルーツのライチは、日本の気候では栽培管理が難しく、従来、九州・沖縄地方等の一部でのみ栽培されていました。弊社は、香川大学との共同研究のもと2020年に独自開発の農業技術（栽培環境モニタリングシステムや植物の病害抵抗力を高める緑色光LEDなど）を用いたライチのスマート栽培技術を実用化し、その後も高品質なライチを安定して栽培する技術の研究開発を続けて参りました。



スマート栽培技術によって
栽培されたライチ

そして、この研究開発において、栽培したライチ果実を分析したところ、弊社技術で栽培されたライチには、機能性関与成分のGABAが多く含まれることが分かりました。

ライチには、もともと葉酸やビタミンCなどのビタミン類や、ロイコシアニンなどのポリフェノールといった栄養成分が含まれていることが明らかになっていましたが、分析の結果、弊社の栽培技術で栽培したライチには、アミノ酸の1種であるGABA（γ-アミノ酪酸）も豊富に含まれることが判明したため、今回、GABAによる「肌の弾力の維持（＊1）」「一時的な精神的ストレスや疲労感の緩和（＊2）」「高めの血圧の低下（＊3）」という3つの機能性について、全国初となる生鮮フルーツのライチで機能性表示食品の届出を行ったものです。

◆ 機能性表示食品の概要

商品名	国産ライチ	届出番号	J 1 2 7
機能性関与成分	GABA		
機能性	（＊1）肌の乾燥が気になる方の肌の弾力を維持し、肌の健康を守るのを助ける 可食部 70g（3～4個）食べると一日当たりの機能性関与成分の50%を摂取可能 （＊2）仕事や勉強による一時的な精神的ストレスや疲労感を緩和する 可食部 20g（1～2個）食べると一日当たりの機能性関与成分の50%を摂取可能 （＊3）高めの血圧を下げる 可食部 20g（1～2個）食べると一日当たりの機能性関与成分の70%を摂取可能		

※ なお、本品は事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。

◆ 今後の予定

（１）試験販売・提供

弊社で栽培されたライチは、JR 高松駅ビル TAKAMATSU ORNE 北館 1 階の、四国の食を集めたセレクトショップ shikoku meguru 様にて、7 月 27、28 日に機能性表示食品として数量限定で試験販売される予定です。また、JR ホテルクレメント高松様では、ベーカリーショップで 7 月 27 日～8 月 4 日までの期間限定で、ライチを使った特製スイーツ「ライチ“美の紅果”とグレープフルーツのモヒート」が販売される予定です。

（なお、試験販売・提供の時期は、栽培状況により変更される場合があります。）

（２）栽培普及の取り組み

弊社が開発したライチのスマート栽培技術は「美の紅果（びのこうか）」の名称・ブランドで普及を図っており（注 1）、高品質なライチの栽培を希望する生産者に、栽培研修や施設設計などの栽培コンサルティングや技術支援を行っております。香川県では、現在、株式会社富士クリーン様（香川県綾歌郡綾川町、代表取締役社長 馬場 太一郎）において、バイオガスを利用した再生可能エネルギーによるカーボンフリーのライチ栽培を目指し、栽培試験を行っております（注 2）。

今回の機能性表示食品の届出により、高付加価値の農産物として、更なるライチの市場価値の向上が期待されますが、今後も、弊社では引き続き研究開発を進め、高品質なライチの生産技術の発展とスマート栽培技術の普及を図り、地域のステークホルダーの皆様と協力して、農業の振興と魅力ある地域づくりに貢献して参りたいと考えております。



機能性表示食品としての表示例



栽培されたライチ

- 注 1 産学連携の取り組みとして、香川大学 創造工学部 造形・メディアデザインコース 石塚昭彦研究室と共同研究を実施し、同研究室で「美の紅果」の Web サイトを含めたブランド、デザインを監修。（美の紅果 Web サイト <https://www.sskn.co.jp/service/lychee/>）
- 注 2 株式会社富士クリーン様によるニュースリリース「国産ライチ栽培試験スタート」（2024 年 7 月 5 日付）参照。（ニュースリリース Web サイト <https://www.fujicl.com/news/1460/>）

以 上

【本件照会先】

〒761-0192 高松市屋島西町 2109 番地 8

株式会社四国総合研究所 総務部 業務課（担当：黒田）

050-8802-4630（直通）